

令和元年7月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「自動車」などは増加したものの、「石油製品」、「鉱物性タール及び粗製薬品」などが減少したことから、伸率（対前年同期比）4.5%の減少となった。また、輸入額は「液化天然ガス」などは増加したものの、「原油及び粗油」、「液化石油ガス」などが減少したことから、同8.8%の減少となった。

これにより差引額は、586億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	702億円	▲4.5%	1,288億円	▲8.8%	▲586億円	▲13.5%
	3カ月連続の減少		2カ月ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)自動車	49億円	16倍	増加品目	(1)液化天然ガス		250億円	+32.9%
		(2)科学光学機器	30億円	+99.2%		(2)石炭		30億円	+144.2%
		(3)自動車の部分品	67億円	+12.9%		(3)生ゴム		25億円	+40.5%
	減少品目	(1)石油製品	72億円	▲34.3%	輸入	(1)原油及び粗油		671億円	▲18.9%
		(2)鉱物性タール及び粗製薬品	38億円	▲23.4%		(2)液化石油ガス		17億円	▲45.8%
		(3)有機化合物	49億円	▲15.7%		(3)非鉄金属鉱		0.03億円	▲99.7%
	地域別動向				地域別動向	増加：大洋州			
	減少：アジア、北米					減少：中東、中東欧・ロシア等			

（参考）ドルレートは、108.00円（前年同月比2.5%、2.78円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。